

# 入試分析

ニュース等の話題性から、科学的に捉え、考える問題が登場した。

計算問題は、文字や四捨五入を用いる答えを出しにくいものであった。

今年度も「観察 思考 解く」の流れが、大切であった。

昨年度まで9題であったが、8題となった。

# 今後の対策

化学は、化合の計算を銅やマグネシウム以外もできるようにしておきたい。「状態変化」、「水溶液の性質」も要注意。

物理は、夏休みまでにすべての公式を使いこなせるようにしておきたい。特に電流・電圧・抵抗の問題は完璧にしておきたい。

生物は、動物に重点をおいて学習したい。  
特にヒトを中心にした「消化・呼吸・血液の循環」「細胞のはたらき」は要注意。

地学は、「地球・星座・惑星」を早めにおさえ  
ておきたい。

自然(科学技術)と人間は、おそらく来年も  
出題される。近年、環境問題が取り上げら  
れているので、特に温暖化は可能性があ  
る。